

戦評用紙

大会名	平成25年度国民体育大会東北ブロック兼第40回東北総合体育大会		
-----	---------------------------------	--	--

日時	2013年8月25日11:00～	区分	少年男子
----	------------------	----	------

チームA				チームB
宮城				岩手
76	15	1Q	13	52
	14	2Q	17	
	20	3Q	8	
	27	4Q	14	
		延長		

【戦評】

第1ピリオド、宮城がハーフコートマンツーマン、岩手が2-2-1ゾーンプレスから2-3ゾーンでスタート。立ち上がり岩手のゾーンディフェンスに対して宮城はパッシングの崩しからアウトサイドシュートを打つもの思うように決まらない。それでもファウルで得たFTを確実に決めリードを奪う。対する岩手も#11がこのピリオド8得点の活躍でお互いに流れを作らせない。15-13、宮城2点リードで第1ピリオドを終了。第2ピリオド入ると岩手のゾーンが徐々に効き始める。宮城はインサイドにボールを入れることができず、アウトサイドからの単発のシュートになってしまう。宮城が8分間でFT1本のみと得点が止まっている間に、岩手は各選手がバランス良く得点し、最大9点までリードを広げる。このまま岩手の流れで前半を終了すると思われたが、第2ピリオド終了間際、宮城が厳しいディフェンスからの速い展開から、#5の3Pや#14のゴール下などで追い上げ、30-29、岩手1点のリードで前半を終了。

第3ピリオド、宮城が#5のゲームメイクからインサイドをうまく攻められるようになり、#9や#14の得点で着実にリードを広げていく。対する岩手は宮城の厳しいディフェンスの前に思うように攻められずこのピリオドをわずか8点に抑えられてしまう。49-38、宮城11点リードで第4ピリオドへ。第4ピリオドに入っても流れは変わらず、宮城が徹底してインサイドを攻め、#14のバスケットカウント、さらにインサイドにディフェンスが寄ったところを#13が3Pを効果的に決め、完全にゲームの流れを掴む。岩手もタイムアウトやディフェンスをマンツーマンに変えるなどして何とか流れを戻そうとするが、宮城の落ち着いたゲーム運びの前に点差を縮めることができない。そのまま宮城がリードを広げ、勝利した。

戦評者

木村 歩